

日 程	テーマ	内 容	進行役	講師
65回 2012/1/17 (火)	BIMにおけるこれからの積算業務の在り方	BIM（ビルディングインフォメーションモデリング）による新たな積算手法と現在の積算ソフトとの連動性などを知り、将来の積算の方向性を探ります。	竹中工務店 上嶋 康史	福井コンピュータ (株) 様
番号	質問事項	回答及び補足事項		
1	システム名はよく聞くのですが、内容はほとんど知らない為この機会に勉強したいと思っています。	実際にご覧いただくことで、概要及び利用方法のアイデアが湧くと思われます。		
2	どんな積算に一番威力を発揮できるのでしょうか？ご教示ください。	傾斜地に建つ建物や、複雑な形状で手計算・手集計に悩みそうなものは3DCADを活用すると誰が見ても分かるだけでなく、ミスが減ると思います。		
3	開発していて一番御苦労されているのはどんな事でしょうか？	実務に即した建築と積算という分野をシステムに置き換えるため、煩雑さを少なくし、汎用性を意識しています。また、短時間で完結出来るためのアイデア出しに苦労します。		
4	現在積算に応用されている会社はどのくらいあるのでしょうか？又今後数年のちにはそうなっていく方向なのでしょうか？	全国的に見てもまだまだ少ないのが現状です。ただし、一年前の状況と比較するとシステムの格段の進歩があり、実務レベルに近づいてきていると思います。数年後は利用が増えるのではないのでしょうか。		